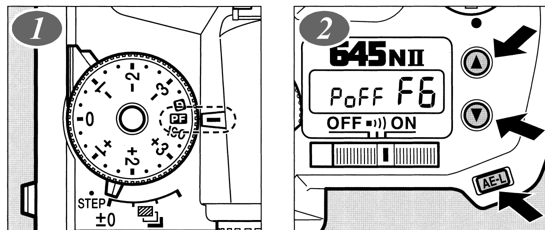
ペンタックスファンクション（PF）

645NII には、撮影スタイルに合わせてカメラの機能を設定できる、10項目（F0～F9）のペンタックスファンクション機能があります。

[F0]	ボディ識別記号の設定	☞75ページ
[F1]	シャッター速度のステップ設定	☞76ページ
[F2]	測光タイマーの時間設定	☞76ページ
[F3]	オートブラケット撮影の順序設定	☞77ページ
[F4]	セルフタイマーの作動時間設定	☞77ページ
[F5]	露出補正のステップ設定	☞78ページ
[F6]	プログラムシフトの設定	☞79ページ
[F7]	フィルムカウンターの設定	☞80ページ
[F8]	撮影本数とフィルムカウンターのファインダー内表示設定	☞80ページ
[F9]	撮影可能枚数の設定	☞82ページ

ペンタックスファンクションの設定方法





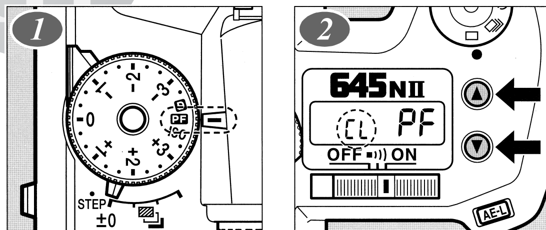
1 露出補正ダイヤルを回し、PF に合わせます。
表示パネルに、ファンクションNo.と、その設定内容が表示されます。

2 まず、ファンクションNo.（F0～F9）をアップ／ダウンボタンで選択し、それぞれのファンクションの設定内容をAEロックボタンAE-Lで選択します。

3 露出補正ダイヤルを元に戻すと、選択した内容はそのまま設定されます。

- 露出補正ダイヤルを0位置から切り替えるには、露出補正ダイヤルロックボタンを押しながら回します。
- 露出補正ダイヤルがPF位置では、シャッターはきれません。

ペンタックスファンクションをすべて初期設定に戻す方法（ペンタックスファンクションのクリアー）



1 露出補正ダイヤルを回し、PF に合わせます。

2 アップ／ダウンボタンを同時に2秒以上押すと、表示パネルに CL が表示され、ファンクションの内容がすべて初期の設定（工場出荷時の状態）に戻ります。

3 露出補正ダイヤルを元に戻すと、選択した内容はそのまま設定されます。

● 露出補正ダイヤルを 0 位置から切り替えるには、露出補正ダイヤルロックボタンを押しながら回します。

[F0] ボディ識別記号の設定

アルファベットA～Gの中からボディ識別記号を設定できます。フィルムへのデータ写し込みを有効にしていると、選んだボディ識別記号がその一番左に写し込まれます。
複数の645NII ボディをお持ちの方は、それぞれに異なるボディ識別記号を設定しておくと、現像後のフィルムがどのボディで撮影されたものなのか判別しやすくなります。

①写し込みなし（初期設定）



②ボディ識別記号：A



③ボディ識別記号：B



④ボディ識別記号：C



⑤ボディ識別記号：D



⑥ボディ識別記号：E



⑦ボディ識別記号：F



⑧ボディ識別記号：G



● 表示パネルのアルファベットの表示は、大文字と小文字が混在していますが、データ写し込みの文字はすべて大文字になります。
写し込み内容については84ページをご覧ください。

[F1] シャッター速度のステップ設定

シャッター優先自動露出およびマニュアル露出時に、シャッター速度を1/2EVステップで選択できるようにするか、シャッターダイヤルの表示どおりに1EVステップで選択するかを設定します。

①1/2EVステップ（初期設定）



②1EVステップ
（シャッターダイヤルの表示どおり）



[F2] 測光タイマーの時間設定

シャッターボタン半押しで、露出計のスイッチが入り自動的に切れるまでの時間を設定します。

①10秒（初期設定）



②20秒



③30秒



[F3] オートブラケット撮影の順序設定

オートブラケット撮影の順序を設定します。

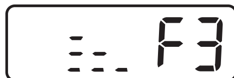
①適正→アンダー→オーバー（初期設定）



②アンダー→適正→オーバー



③オーバー→適正→アンダー



[F4] セルフタイマーの作動時間設定

セルフタイマー撮影時の、シャッターボタンを押してから、シャッターがきれるまでの時間を設定します。

①12秒後（初期設定）



②2秒後
（自動的にミラーアップ）



- 「2秒後」を設定した場合、シャッターボタンを押した直後に自動的にミラーアップが行われ、その2秒後にシャッターがきれます。
- 「2秒後」を設定した場合、シャッターボタンを押した後の途中解除はできません。

[FS] 露出補正のステップ設定

露出補正の補正ステップを設定します。

①1/3EVステップ（初期設定）
（ダイヤルの表示どおり）

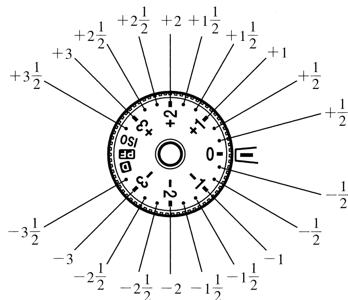


②1/2EVステップ

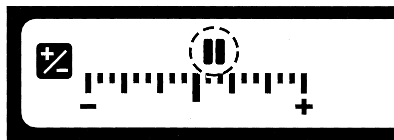


「1/2EVステップ」を設定した場合について

露出補正ダイヤルは1/3EVステップで目盛りが刻まれていますが、「1/2EVステップ」を設定した場合は、目盛りを1/3EV位置、2/3EV位置のどちらに合わせても、補正量は1/2EVになります。



ファインダー内表示は、バーグラフ上の▯が2コ点灯し、補正ステップが1/2EVであることを示します。



● 「1/2EVステップ」を設定した場合、露出補正の行える範囲は−3 1/2EV～＋3 1/2EVになります。

[F6] プログラムシフトの設定

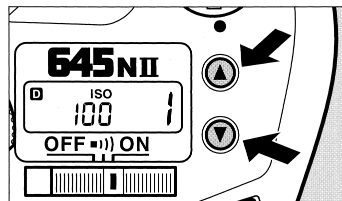
プログラム自動露出時の、プログラムシフト操作を無効にするか、有効にするかを設定します。

①無効（初期設定）



②有効





「有効」を設定した場合について

プログラム自動露出時にアップ／ダウンボタンを押すと、1/2EVステップでプログラムシフトができます。ボタンを押しつづけると、連続的にシフトします。

- アップボタンを押すとシャッター速度が速く絞りが開放方向に、ダウンボタンを押すとシャッター速度が遅く絞りが絞られる方向にシフトします。
- シフトしたシャッター速度と絞り値は、ファインダー内表示で確認できます。
- プログラムシフト行われているかどうかは、確認することができません。
- プログラムシフトはシャッターをきっても解除されません。解除するには、一旦電源をOFFにするか、露出モードを変更してください。

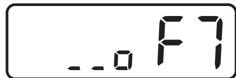
[F7] フィルムカウンターの設定

フィルムカウンターの表示を、加算表示にするか、減算表示にするかを設定します。

①加算表示（初期設定）



②減算表示



● フィルムカウンターの設定は、フィルムをカメラにセットした後でも変更可能です。

[F8] 撮影本数とフィルムカウンターのファインダー内表示設定

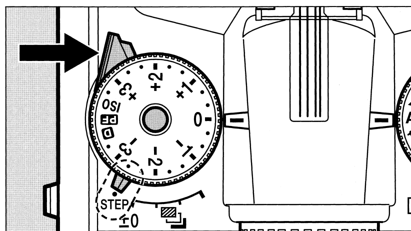
オートブラケットレバーを STEP 位置に押し付けた際に、フィルムの撮影本数とフィルムカウンターの表示を、ファインダー内表示に、表示させないか、表示させるかを設定します。

①表示させない（初期設定）

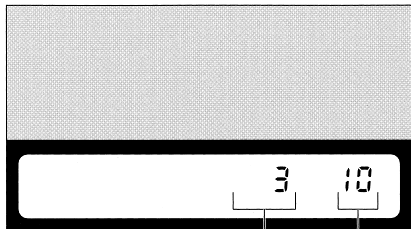


②表示させる





「表示させる」を設定した場合の表示方法
オートブラケットレバーを STEP 位置に押し付けます。ファインダー内表示に、フィルムの撮影本数とフィルムカウンターが表示されます。
オートブラケットレバーは指を離すと、自動的に ±0 位置に戻ります。



[F9] 撮影可能枚数の設定

120フィルム・220フィルムを使用した際に撮影できる枚数を設定します。
撮影可能枚数の設定は、装着したフィルムバックの種類により、設定時の表示パネルの表示が異なります。

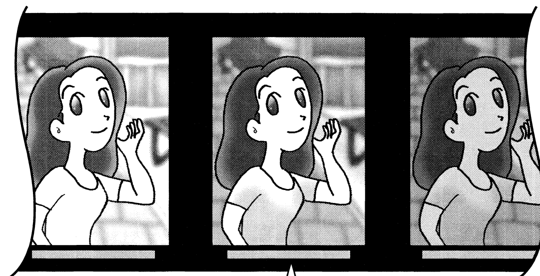
	120フィルムバック装着時	220フィルムバック装着時
①15枚・32枚撮り（初期設定※） 120フィルム使用時……15枚撮り 220フィルム使用時……32枚撮り		
②16枚・33枚撮り 120フィルム使用時……16枚撮り 220フィルム使用時……33枚撮り		

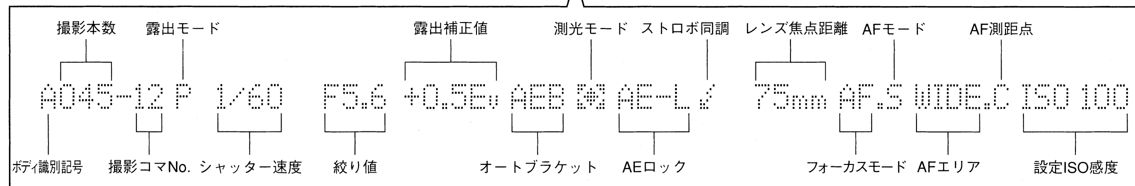
※特定の条件においてフィルムの巻きぐせ現象が発生するのを防止するため、初期設定は「15枚・32枚撮り」になっています。特定の条件とは、「16枚・33枚撮り」を設定し、フィルム装てん後または撮影後約30秒以上放置し、絞り値をF5.6付近より開放側で2コマ以上の連続する撮影をした場合の2コマ目を指し、このコマでのみフィルムの巻ぐせにより画面の一部にピントのずれが起きるおそれがあります。以上は、フィルム個々の特性・温度・温度などの条件により異なります。

- フィルムバックを装着していない時の表示パネルの表示は、120フィルムバックを装着したときと同じです。
- 撮影可能枚数の設定ができるのは、カメラにフィルムをセットし1コマ目の撮影を行うまでです。
  1コマ目の撮影以降は、そのフィルムを取り出すまで設定の変更はできません。

撮影データの写し込み

撮影時の露出モード・シャッター速度・絞り値などの撮影データをフィルムに写し込むことができます。
撮影データは、下図のようにフィルムの撮影画面外に写し込まれます。詳しくは、84ページをご覧ください。



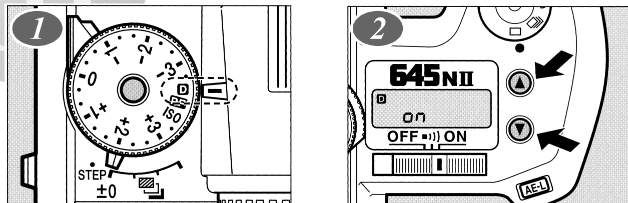


● 撮影データの写し込みは、表示パネルに D が表示されている時に行われます。また、撮影データを写し込まないようにすることもできます。（☞86ページ）
● 撮影データの文字がフィルム上に印刷してある文字と重なることがあります。

項目	写し込み内容	
ボディ識別記号	ペンタックスファンクションで設定したボディ識別記号が写し込まれます。初期設定では写し込みはなしになっています。（☞75ページ）	
	写し込み例	空白（写し込みなし）、A、B、C、D、E、F、G
撮影本数	そのボディで撮影したフィルム本数を1～199の範囲で写し込みます。撮影本数が199を超えた時と、撮影データの写し込み機能を一旦OFFにすると、本数は1に戻ります。	
撮影コマNo.	撮影コマNo.を1～95の範囲で写し込みます。ペンタックスファンクションで撮影枚数表示を逆算表示にしていても、写し込みは順算で行われます。	
露出モード	プログラム自動露出はP、絞り優先自動露出はAv、シャッター優先自動露出はTv、マニュアル露出はM、バルブ時はBUと写し込まれます。	
シャッター速度	撮影時ファインダー内に表示されたシャッター速度が写し込まれます。バルブ撮影時は9999秒までの露光時間が写し込み可能で、それ以上はBULBと写し込まれます。LSレンズ使用時はLS、シャッターダイヤルのX位置使用時はXと写し込まれます。	
	写し込み例	1/1000、1/60、10"、30"、4"、9999"、BULB、LS、Xなど
絞り値	撮影時ファインダー内に表示されたF値が写し込まれます。ヘリコイド接写リングなど、情報接点のないアクセサリーを使用した場合はF--が写し込まれます。	
露出補正値	露出補正を行わなかった場合は±0.0Evと写し込まれます。オートブラケット撮影を行った場合はその補正値が写し込まれ、露出補正と併用した場合は加算値が写し込まれます。	
	写し込み例	＋0.4Ev、＋2.0Ev、－0.7Ev、－0.3Ev、±0.0Evなど
オートブラケット	オートブラケット撮影を行った場合、AEBと写し込まれます。行わなかった場合は、空白（写し込みなし）になります。	
測光モード	分割測光は[分割測光マーク]、中央重点測光は[中央重点測光マーク]、スポット測光は[スポット測光マーク]が写し込まれます。	

項目	写し込み内容	
AEロック	AEロックを行った場合、AE-Lと写し込まれます。行わなかった場合は、空白（写し込みなし）になります。	
ストロボ同調	67ページの当社製ストロボ（A～E）でストロボ撮影を行った場合、⚡が写し込まれます。ストロボ撮影を行わなかった場合、または他社製ストロボで撮影を行った場合は、空白（写し込みなし）になります。	
レンズ焦点距離	FA645レンズを使用した場合、使用したレンズの焦点距離が写し込まれます。ズームレンズを使用した場合は焦点距離の近似値、A645レンズおよびリアコンバーターなどのアクセサリーを使用した場合は--mmが写し込まれます。	
	写し込み例	45mm、55mm、75mm、80mm、100mm、160mm、300mm、- - mmなど
フォーカスモード	オートフォーカスを行った場合はAF、マニュアルフォーカスを行った場合はMFが写し込まれます。	
AFモード	シングルAFにした場合はS、コンティニアスAFにした場合はCが写し込まれます。マニュアルフォーカスを行った場合は空白（写し込みなし）になります。	
AFエリア	3点AFを行った場合はWIDE、スポットAFを行った場合はSPOTが写し込まれます。マニュアルフォーカスを行った場合は空白（写し込みなし）になります。	
AF測距点	AFエリアを3点AFに設定した場合、どの測距点でAF合焦が行われたかが写し込まれます。左はL、中央はC、右はRが写し込まれます。スポットAFを行った場合、マニュアルフォーカスを行った場合、コンティニアスAFでAF合焦しない状態でシャッターをきった場合は空白（写し込みなし）になります。	
設定ISO感度	設定したISO感度が6～6400の範囲で写し込まれます。	

撮影データ写し込みのON／OFF



1. 露出補正ダイヤルを露出補正ダイヤルロックボタンを押しながら0位置から外し、D位置に合わせます。
2. アップ／ダウンボタンを押すたびに、表示パネルの表示が切り替わります。
   露出補正ダイヤルをD位置から外すと、データ写し込みのONまたはOFFが設定されます。

データ写し込みON



データ写し込みOFF



- 工場出荷時の設定では、撮影データの写し込みはONになっています。
- 多重露出撮影では、最後のコマのデータだけが写し込まれます。
- まれに撮影データの写し込みが撮影画面内にわずかにかかることがあります。大事な被写体が画面右端にくる場合（横位置撮影時）は、念のためにデータの写し込みをOFFにしてください。ただし、写し込みを一旦OFFにすると、撮影本数の写し込みが1に戻ります。

専用アクセサリー［別売］

各種専用アクセサリーが用意されています。詳しくは、サービス窓口にお問い合わせください。

● **ワンタッチケーブルスイッチCS-105／CS-130**
645NⅡ、MZ-Sに使えるレリーズコード。

● **レリーズタイマースイッチTS－110**
インターバルセルフタイマー機能を備えたレリーズコード。

● **ケーブルレリーズ30／50**
レリーズネジ穴のあるカメラに使えるレリーズコード。

● **マグニファイヤー 645**
ファインダー中央部を拡大して見るアクセサリー。

● **レフコンバーター 645**
ファインダーを見る角度を90°間隔に変えることができるアクセサリー。

● **オートストロボAF540FGZ／AF500FTZ／AF360FGZ**
それぞれガイドナンバーが最大54／50／36のAF補助光内蔵オートズームストロボ。スレーブ機能や先幕・後幕シンクロ撮影などが可能。

● **ホットシューアダプター FG、延長コードF5P、オフカメラシューアダプター F**
AF540FGZやAF360FGZなどのオートフォーカス一眼レフ用ストロボをカメラから離してストロボ撮影するときのアダプターとコード。

● **フィルター**
スカイライト・曇天用・UV・Y2・O2・R2・円偏光があります。フィルター径は49mm・52mm・58mm・67mm・77mmの5種類です。

● **リモートバッテリーパック645**
寒冷地などで使用する電池保温用のアクセサリー。

● **フィルムバック645**
120フィルム用と220フィルム用の2種類があります。

● **AF400Tブラッケット645**
AF400Tをカメラに付けるためのアクセサリー。

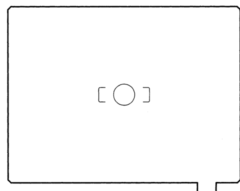
● **クイックシュー**
カメラと三脚の迅速な着脱を可能にするアクセサリー。クイックシューベースQS-B1とクイックシューアダプター QS-20を組み合わせて使用します

● **645ソフトケース（ブラック）**
柔らかいバックスキンタイプのケースです。

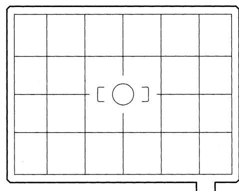
● **交換フォーカシングスクリーン**

フォーカシングスクリーンは、標準スクリーンを含め下記の4種類が用意されております。
交換方法については、スクリーンの使用説明書をご覧ください。

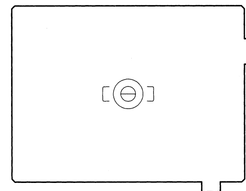
AS-80（AFセンタースポットマット）
一般撮影用、標準品

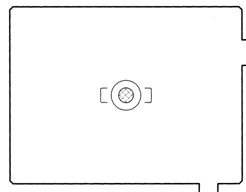


AG-80（AF方眼マット）
構図設定用（9mm間隔の方眼付）

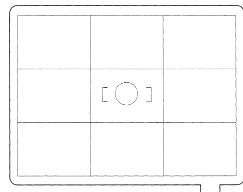


AB-82（AFスプリットイメージマット）
スプリットイメージ付





AA-82（AFマイクロプリズムマット）
マイクロプリズム付



AL-80（AF9分割マット）
構図設定用（縦横3分割ずつのライン入り）

アクセサリーの注意

- 接写リングなど、絞りの連動がきかないアクセサリーを使用した場合や旧タイプのストロボで、絞りがA位置で使えないものの場合は、絞りをA位置から外してご使用ください。
- 一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスおよび露出の精度が低下します。円偏光フィルターの使用をお勧めします。
- リモートバッテリーパック645を使う場合、カメラ本体の電池ホルダーがセットされていないと電源が入りません。

リアコンバーターについて

レンズの種類や被写体（光）の状態により、露出補正が必要になることがあります。
おおよそ－1EVくらいまでのマイナス補正が必要なことが多いですが、実写で確認することをお勧めします。

オートベローズ645について

ダブルレリーズAが同梱されていないオートベローズ645をこのカメラに使用しても、シャッターがきれません。別売りのダブルレリーズAを下記のように取り付けてご使用ください。

〈ダブルレリーズAの取り付け方法〉

1. 赤い輪の付いている方をオートベローズ 645 の前枠下側の赤い輪の付いているレリーズ穴にねじ込みます。
2. もう一方をカメラのレリーズねじ穴にねじ込みます。

ダブルレリーズAを押したとき、レンズが最小絞りまで絞られた後、シャッターがきれるように調整をしてください。最小絞りまで絞られる前にシャッターがきれるときは、先端に赤い輪が付いている方のレリーズの出方を多く、または、もう一方の出方を少なくしてください。

〈ダブルレリーズAの調整方法〉

先端のつまみを先の方から見て左方向に回してから、先端のつまみを押さえ、後方のつまみを同様に左方向に回して固定するとレリーズの出方が多くなります。逆に後方のつまみを右方向に回してから、後方のつまみを押さえ、先端のつまみを右方向に回すと出方が少なくなります。

こんなときは？

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください。

症状	原因	処置	参照ページ
シャッターがきれない。	フィルムの規定枚数を撮り終えている。	フィルムを取り出してください。	22ページ
	電源がOFFになっている。	電源をONにしてください。	13ページ
	バッテリー警告が出ている。	電池を交換してください。	11、14ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	42ページ
	露出補正ダイヤルがISO PF D位置になっている。	露出補正ダイヤルをISO PF D位置以外に合わせます。	21、60、73、86ページ
フィルム枚数が1にならない。	フィルム装填後電源をONにしシャッターボタンを押していない。	フィルム装填後電源をONにしシャッターボタンを押してください。	20ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源がOFFになっている	電源をONにしてください。	13ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	11ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	11ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	11ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい被写体にAFフレーム[ ]が合っていない。	被写体をAFフレーム[ ]に入れて撮影してください。	28ページ
	被写体に近づきすぎている。	被写体から離れてください。	29ページ
	レンズがマニュアルフォーカスになっている。	レンズをオートフォーカスにしてください。	30ページ
	被写体がオートフォーカスの苦手な物	フォーカスロックをするか、マット部分でのマニュアルフォーカスをしてください。	33、38ページ

症状	原因	処置	参照ページ
	ピントは合っているが、ブレている。	手ブレの場合は三脚などをご使用ください。被写体ブレの場合はシャッター速度を速く設定してください。	29ページ
	ファインダーの視度が合っていない。	視度調整を行ってください。	25ページ
ファインダー内の●が点滅する。	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な物などのためピント合わせができない。	フォーカスロックを使うか、マット部分でのピント合わせをご利用ください。	33、38ページ
表示パネルのEが点滅する。	フィルムが正しく入っていません。	もう一度フィルムを正しく入れ直してください。	18ページ
	フィルムバックとカメラの接触不良の可能性があります。	フィルムバックの着脱を何度かしてみてください。	17ページ
表示パネルの0が点滅する。	多重露出にセットされている状態でフィルムを入れようとしています。	多重露出を解除し、シャッターボタンを押し直してください。	20、45ページ
表示パネルのErrが点灯する。	カメラの異常の可能性があります。	一旦電池を抜き、再度入れなおしてください。 Err表示が消えた後、お客様窓口にご相談ください。	11、裏表紙

静電気などの影響により、希にカメラが正しい作動をしなくなることがあります。このような場合には、一旦電池を入れ直してみてください。また、ミラーが上がったままになった場合には、電池を入れ直してから電源をONにし、シャッターボタンを半押しにすると、ミラーが下がります。これらを行ないカメラが正常に作動すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

型式 ―― TTL AE・AF6×4.5cm判一眼レフカメラ

画面サイズ ―― 56×41.5mm

使用フィルム ―― 120ロールフィルム（15枚撮り）、220ロールフィルム（32枚撮り）、ISO6～6400、120・220はそれぞれ専用フィルムバック使用、途中交換不可

露出モード ―― プログラム自動露出、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出、マニュアル露出、バルブ

シャッター ―― 電子制御式布幕縦走りフォーカルプレーンシャッター、
オートシャッター＝1/1000秒～30秒［無段階］、
マニュアルシャッター＝1/1000秒～6秒、バルブ、電源OFFでシャッターロック

レンズマウント ―― ペンタックス645AFマウント［AFカプラー、レンズ情報接点付］

使用レンズ ―― 645Aマウント、645AFマウントレンズ

オートフォーカス機構 ―― TTL位相差検出式3点測距（SAFOXⅣ）、オートフォーカス作動輝度範囲－1Ev～18Ev［ISO100］、スポットAF可能、フォーカスロック可能、AFモード＝S（シングル）・C（コンティニアス）［動体予測可］、合焦時電子音（解除可）

ファインダー ―― ケプラーテレスコープ式ファインダー、交換式ナチュラルブライトマットフォーカシングスクリーン、視野率　縦92％横93％、倍率0.76倍［75mm・∞］、視度＝－3.5～＋1m^{-1}［毎メートル］、3点AFフレーム、スポットAFフレーム、スポット範囲円

ファインダー内表示 ―― フォーカス表示［FI＝フォーカスインジケーション］●合焦マーク＝点灯　合焦不能マーク＝点滅、シャッター速度表示、絞り表示、⚡＝ストロボ情報、バーグラフ＝露出補正値、オートブラケット表示、マニュアル露出時のオーバー・アンダー表示、±＝露出補正、✱＝AEロック

LCDパネル表示 ―― D＝撮影データ写し込み可、▯＝電池消耗、フィルム感度、ISO、フィルム枚数

セルフタイマー ―― 電子制御式、シャッターボタンで始動、作動時間12秒

ミラー	クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付、ミラーアップ可能
フィルム入れ	120・220フィルムバックはスタートマークによるセミオートローディング
巻き上げ	内蔵モーターによる自動巻き上げ（シャッターボタンによる作動）、1コマ撮影・連続撮影［約2コマ／秒］、途中巻き取り可能
露出計・測光範囲	TTL開放デュアル6分割測光、測光範囲75mmF2.8 ISO100 EV2～21、中央重点・スポット測光可能
露出補正	±3 1/3EV［1/3EVステップで設定可能］
多重露出	多重露出レバーによるセット
AEロック	ボタン式（タイマー式）シャッターボタン半押しで継続
オートブラケッティング	±1/3、±2/3、±1または±1/2、±1、±3/2を選択可
シンクロ	ホットシュー［X接点専用ストロボ接点付き］専用ストロボ連動　同調スピード1/60秒、ISO連動範囲＝25～800
撮影データの写し込み	フィルムの画面外に撮影時自動写し込み（解除可） 項目＝ボディ識別記号、撮影本数、撮影コマNo.、露出モード、シャッター速度、絞り値、露出補正値、オートブラケット、測光モード、AEロック、ストロボ同調、レンズ焦点距離、フォーカスモード、AFモード、AFエリア、AF測距点、設定ISO感度
電源	単3形電池6本使用（単3形リチウム電池・単3形アルカリ電池）、リモートバッテリーパック645による遠隔操作可能。
電池消耗警告	バッテリーマーク点灯［点滅でシャッターロック、ファインダー内表示は消灯］
大きさ・質量［重さ］	150mm［幅］×111mm［高］×117mm［厚］　1280g ［大きさ、質量はフィルムバック付、レンズ・電池はなし］
付属品	ボディーマウントキャップ645、ボディー後キャップ645、ワンタッチレリーズソケットキャップ、カメラストラップG、大型アイカップ、ホットシューカバー FK

さくいん

記号・英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か最寄りの当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のフィルムやプリント、また故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中［ご購入後1年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等）や手入れの不備（泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等）による故障。
   - 保証書の添付のない場合。
   - 販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。［保証期間中のみ有効］
7. 保証内容に関して、くわしくは保証書をご覧ください。

ペンタックスファンクションの設定表示一覧

ペンタックスファンクションの設定を行う際の、表示パネルの表示一覧です。切り取ってご利用ください。
各設定のうち、①は初期設定を表しています。

[F0] ボディ識別記号の設定

①写し込みなし

bno F0

②ボディ識別記号：A

bnoA F0

③ボディ識別記号：B

bnob F0

④ボディ識別記号：C

bnoC F0

⑤ボディ識別記号：D

bnod F0

⑥ボディ識別記号：E

bnoE F0

⑦ボディ識別記号：F

bnoF F0

⑧ボディ識別記号：G

bnog F0

[F1] シャッター速度のステップ設定

①1/2EVステップ

1_2 F1

②1EVステップ

1 F1

[F2] 測光タイマーの時間設定

①10秒

10'' F2

②20秒

20'' F2

③30秒

30'' F2

[F3] オートブラケット撮影の順序設定

①適正⇒アンダー⇒オーバー

②アンダー⇒適正⇒オーバー

③オーバー⇒適正⇒アンダー

[F4] セルフタイマーの作動時間設定

①12秒後

12'' F4

②2秒後

2'' F4

[F5] 露出補正のステップ設定

①1/3EVステップ

1_3 F5

②1/2EVステップ

1_2 F5

[F6] プログラムシフトの設定

①無効

PoFF F6

②有効

Pon F6

[F7] フィルムカウンターの設定

①加算表示

o_ _ F7

②減算表示

_ _o F7

[F8] 撮影本数とフィルムカウンターのファインダー内表示設定

①表示させない

CoFF F8

②表示させる

Con F8

[F9] 撮影可能枚数の設定

①15枚・32枚撮り

120フィルムバック装着時

15 F9

220フィルムバック装着時

32 F9

②16枚・33枚撮り

120フィルムバック装着時

16 F9

220フィルムバック装着時

33 F9

MEMO

MEMO

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（離島など、一部の地域を除く）どこからでも電話一本でペンタックス指定の宅配業者がお客様ご指定の日時・場所に梱包資材を持って不具合品を引き取りにお伺いし、専門修理スタッフが修理を行なって、お客様ご指定の場所に完成品をお届けするサービスです。

電話受付
TEL　0120-97-0405 （フリーダイヤル）
（受付時間 ：平日 8：00～21：00　土・日・祝日・年末年始 9：00～18：00）

（宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ）

ペンタックス イメージング・システム事業部　**東京サービスセンター**　03-3975-4341（代）
〒175-0082　東京都板橋区高島平6-6-2　ペンタックス流通センター内
営業時間：9：00～17：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス イメージング・システム事業部　**大阪サービスセンター**　06-6271-7996（代）
〒542-0081　大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間：9：00～17：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス　**http://www.pentax.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター



ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS および IP 電話の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎03-3960 -3200（代）
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間　9：00 ～18：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム　**☎03-3348-2941（代）**

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）
営業時間　10：30～18：30
休業日　毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

ＨＯＹＡ株式会社
ペンタックス イメージング・システム事業部
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9

☆この説明書は再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

56756

H10-200804
Printed in Japan